

一〇五三番

我が大君わ おほきみ 神の命かみ みことの 高知たかしらす 布当ふたぎの宮みやは 百もも  
木きもり 山やまは木高こだかし 落おち激たぎつ 瀬せの音おとも清きよし  
うぐひすの 来鳴きなく春はるへは 巖いはほには 山下やましたひか光ひかり  
錦にしきなす 花はな咲さきををり さ雄鹿をししかの 妻呼つまよぶ秋あきは  
天霧あまぎらふ しぐれを疾いたみ さにつらふ 黄葉もみちち散ちり  
つつ 八千やちとせ年に 生あれつかしつつ 天あめの下した 知しら  
しめさむと 百代ももよにも 変かはるましじき 大宮所おほみやどころ